

課題領域	めざす方向性	(1) 地域自律型の「藤沢づくり」を創る	(2) 明日の藤沢を担う「藤沢」の子どもたちが育む環境	(3) 市民力・地域力による安心で安心して暮らせるまちの創出	(4) 共に生き、共に創る地域社会の創出	(5) 豊かな地域資源の次世代への継承・発展	(6) 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資	(7) 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生	(8) 公共資源の維持管理と有効活用	(9) 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出
生活	(A) 市民生活の安定(安定・落ち着き・安心)	1 身近な地域での暮らしやすさが実現していること	8 市民自ら、人にやさしいまちを創る	17 保健、医療、福祉、健康などの生活環境が整い暮らしやすくなっていること	24 挨拶や声かけによる市民同士のコミュニケーションがとれていること	35 暮らしと自然環境の調和がとれていること	46 生活の便利さと環境保全の両方が実現していること	56 身近に親しみや愛着を感じる場所があること	66 市民の財産である自然を守り、育てられていること	73 活気があり、開放的で温かいまちであること
	(B) 市民生活の豊かさ(夜に立つ・便利・快適・楽しい)	2 市民が自慢できるまちであること	9 子どもを安心して育てられる環境があること	18 災害に耐え、市民が安心して暮らせるまちであること	25 生活環境を守り、市民が安心して暮らせるまちであること	36 誰もが快適に暮らせ、居心地のいいまちであること	47 みんなが協力して、いつまでもまちがきれいであること	57 すべての世代が活躍していること	67 移動や利用にたどり着ける場所があること	74 いつもの自然の豊かさを感じられていること
活動	(C) 持続的活動(伝える・維持する)	4 藤沢市で活用できる様々な資源を有効活用していること	10 子どもが、住んでいる地域に誇りをもち、地域で暮らしていること	20 安全・安心を高める活動が盛んであり、ボランティアの精神が高いこと	28 地域のための一歩ひとりの活動が大切にされていること	39 身近にある緑が適切に保全されていること	50 市民の環境美化への意識を高める工夫がされていること	60 まち若者が多く、活気があること	69 市民が利用する身近な施設が大切にされていること	77 藤沢の魅力がメディアで発信されていること
	(D) 創造・推進活動(祭典・チャレンジ)	5 地域で協働して、暮らしやすいまちづくり活動が行われていること	12 地域協働で、教育や人材育成に熱心な活動が行われていること	21 市民が協力しあい、安心して住みやすいまちであること	29 いろいろな世代、いろいろな関心の人たちと交流できること	41 暮らしの利便性や環境の良さを活かしていること	51 先進的な環境対策がとられていること	62 産業の活力を高め、地域が元気になること	70 様々な主体により、身近な公共の場が維持管理されていること	79 市民の意識が高く、市民参加型のまちづくりが進んでいること
基盤	(E) 交流基盤(交流・つながり・連携)	6 誰でも気軽に市内の仲間を誘ったり、帰ることができていること	13 地域が子どもを思う子育ての環境であること	22 様々な世代が、快適に暮らせるまちであること	31 社会的弱者の方が快適に過ごせるまちであること	42 市民同士が協力し合いながら暮らしていること	52 周辺自治体や他地域と共同で環境対策を進めていること	64 商店街・大型店舗が共存共栄し、活気あるまちになること	71 様々な連携を通じて、市民が望むサービスが提供されていること	80 市民と来訪者が交流できる機会や場があること
	(F) 市民生活の基盤(学・ふ・声・心・人材育成・仕組みづくり)	7 お互いに「マナー」を守り、助け合いの心で過ごせるまちであること	15 子どもたちが積極的に交流できる場が整備されていること	23 福祉が充実し、子どもから高齢者まで守られていること	32 人々が交流して、平和でぬくもりのある社会であること	43 子供が大人になって、も愛着の持てるまちであること	53 市民、地域が協力を進め、持続可能なまちづくりを進めていること	65 市内の交通・物流がスムーズに行われること	72 いろいろな市民の学びの場が充実していること	82 藤沢ならではの取り組みが実践されていること

表 13 ふじさわ未来課題マトリックス(湘南台地区)

- ① 協働型の課題解決で協働向上へ
- ② 強みや魅力の維持・向上を
- ③ より効率的に価値の維持を
- ④ 強固と信頼ある未来戦略を

重点・ふじさわ未来課題